



■2024年12月の予定表をお送りします。

いよいよ寒くなってきましたが、12月いっぱいは、ナイターの選手練習も外のコートでがんばりますので、よろしくお願ひします。インフルエンザが流行期になり、共栄学園でも生徒の感染が広がっているようです。感染予防には、十分留意して、健康な年末年始をお迎えください！

■ダンロップトーナメント関西大会出場

地元の新聞社にも記事にしてもらいましたが、中3の樋口・荒川ペアが、アマチュア社会人の目標とする大会に出ることができました。そもそも福知山市選手権の一般女子に優勝したことが始まりで、その後京都府選手



権に推薦していただき、さらに出場枠が空いたので、二人にお声がけしていただき、京都府チームとして長浜ドームで行われた関西大会に出場させていただきました。関西2府4県のトップ選手に交じってプレーさせてもらった経験は貴重なものになったと思います！

■インフルエンザなど感染症に注意！！



練習には多めのドリンク（できればスポーツドリンク）タオルをお忘れなく！手洗いとうがいを励行し、睡眠と食事もしっかり取って、免疫力の低下に注意！

テニスの豆知識 99

■硬式テニスについて

このコラムも99回目ということで、昔のコラム（2013年の頃）を読み返してみると、「テニス競技の難しさ」「テニスでは喰えない」みたいなネガティブなネタが当時から多かったようです。最近も「競技人口の減少」などの暗いネタが多いようで、これではいけないと思い、硬式テニスの明るい未来を考えてみたいと思います。人口減少傾の地方都市では、今後、大きなテニスクラブなどができる可能性は少ないので、現実的なところで考えると、現在中学校から広がり始めた、「部活動の地域活動への移行」があげられます。すでに野球やバレーボールでは福知山でも、学校に部活がない生徒たちが一緒に活動で



きるような社会体育組織が活動を始めております。この流れを、何とか「部員数が足りない学校部活の救済的な活動」から、「そもそも学校に部活がないけど

中体連などの大会にも出られるような、中学校が認める外部での部活動につなげていくことが、今必要なことだと思います。現在でもテニスの場合は、公立中学の生徒も個人戦には出れるのですが、まだまだ特殊なケースのようになっております。もっと、各中学校と社会体育系のクラブが連携して、積極的に学校外の活動に「部活動」として参加できるようにすることが望ましいと思います。民間クラブでは経費面で難しいところですが、FJTCの場合はそれが可能だと思うのです。市教委さんと本気で相談する時期に来ていると思います。

京都ジュニアのエントリーは1月に受け付けます。

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ（京都共栄学園内）

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>
代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoei.ed.jp

